

マティス ピカソ マルケ ブラック

20世紀の画家たち

フォーヴィスムとキュビスム

La peinture française au XXème siècle
Fauvisme et Cubisme



アルベール・マルケ《ラ・グーレットの窓》1926年 ポルドー美術館
© ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2004



アンリ・マティス《窓辺の婦人》1919年 鹿児島市立美術館


2004
10月20日(水) - 11月28日(日)

開館時間=9:00-17:00 (入館受付は16:30まで)
休館日=月曜日

主催=尾道市立美術館、中国新聞備後本社
後援=フランス大使館、広島県教育委員会、
NHK広島放送局
協力= AIR FRANCE エールフランス航空

観覧料=大人一般 1,000円/大学・高校生 800円
中学・小学生 500円
(前売は、各200円引/20名以上の団体は、各100円引)

※前売券のお求めは、「中国新聞」販売所、JR西日本(岡山・広島エリア)のおもな駅の「みどりの窓口」で。
小学生未満は無料です。
70歳以上のかたと、お身体に障害をお持ちのかた、またその介護が必要なかたの介護者1名は、無料です。証明できるものを、美術館 受付でご提示ください。

 **尾道市立美術館**
〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内
Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682

© 2004 Succession H. Matisse, Paris / SPDA, Tokyo

マティス ピカソ マルケ ブラック

20世紀の画家たち

フォーヴィスムとキュビズム

La peinture française au XXème siècle
Fauvisme et Cubisme

印象派や後期印象派の流れを受け継ぎながら、フォーヴィスムとキュビズムという二つの新たな潮流をあいっいでかたちづくり、その後の美術の展開に大きな影響を与えました。

マティスとマルケに代表される、フォーヴィスムの画家たちは、とくに色彩に注目して、固有色という考え方を捨て、あざやかな色彩と大胆な筆致で対象を描くことによって、色彩と形態を画面に解放しました。一方、ピカソとブラックに代表される、キュビズムの画家たちは、空間表現に注目して、遠近法などの古典的なまきまりごとをくつがえし、視線によって形態を解体して、色彩とともに再構築していくことで、独特の分析的な画面空間をつくり上げました。本展では、フランスのボルドー美術館をはじめとする、内外の貴重なコレクションの協力を得ながら、これらフォーヴィスムとキュビズムの画家たちにあらためて焦点を当て、総計83点の作品で、20世紀美術を方向づけた活動の軌跡に迫ろうとするものです。

平和と革新を希求し、20世紀美術をつくり上げていった巨匠たちの足跡をたどりながら、その偉大な遺産の数々をいまいちど顧みること、テロリズムとの戦いの嵐の中で混沌とした幕開けをした、この21世紀を、戦後60年を目前にして平和と癒しへと導く、新たな感動と希望を胸に灯し続けてください。

二つの世界大戦を経験した20世紀には、苦難を乗り越え、灰の中からよみがえった不死鳥のように、美術もまた、それまでになかったほど多様な展開を見せました。なかでも、マティスとマルケ、そして、ピカソとブラックは、19世紀末に興った印



アンリ・マティス《腰掛ける少女》1909年 ケルン、ルートヴィヒ美術館蔵
© 2004 Succession H. Matisse, Paris / SPDA, Tokyo



ジョルジュ・ブラック《水差し、レモン、フルーツⅢ》1928年 ケルン、ルートヴィヒ美術館蔵
© ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2004



パブロ・ピカソ《ろうそくのある静物》1944年
ポーラ美術館【ポーラ・コレクション】
© 2004-Succession Pablo Picasso-SPDA (JAPAN)



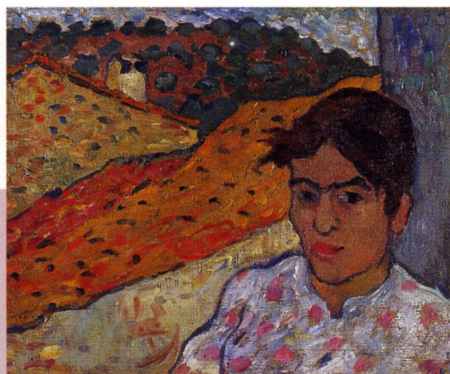
アルベール・マルケ《ピラの庭》1935年 ボルドー美術館蔵
© ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2004



アンドレ・ロート《パリ、ノートル＝ダムの後陣》1910年 ボルドー美術館蔵
© ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2004



ウラディーミール・バラノフ・ロシネー《ゼニアオイ色のテーブル》
1912年 ケルン、ルートヴィヒ美術館蔵 © Museum Ludwig Köln



ルイ・ヴァルタ《若いスペイン女性》1895年 ボルドー美術館蔵
© ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2004

■ 特別記念講演会

「20世紀をつくった画家たち フォーヴィスムとキュビズム」
会場：尾道市立美術館 日時：10月23日 14:00-16:00
講師：芹川貞夫（福井県立美術館 主任学芸員）
当日の入館者を対象とします。申し込みは不要です。

近隣美術館情報

- ◆ 徳島県立近代美術館
ビエール・ボナール展
魅惑する色彩への誘い
9月12日 9時-11月7日 9時
- ◆ (財) 大原美術館
VOCA10周年記念展
9月9日 9時-11月28日 9時
有隣荘特別公開
10月8日 9時-10月17日 9時
- ◆ ふくやま美術館
高村光太郎展 そして智恵子
10月1日 9時-11月28日 9時
- ◆ 島根県立美術館
伯爵カメラマン 亀井茲明展
10月8日 9時-11月28日 9時
- ◆ 広島県立美術館
1940-60年代 広島洋画の粋展
10月5日 9時-11月28日 9時

- ◆ (財) ひろしま美術館
石橋美術館名作展—「海の幸」がやってくる
10月30日 9時-12月19日 9時

■ 次回展覧会予告

「小林和作の世界—和作と南人子—」12月4日 9時—2005年1月30日 9時
※月曜日と年末年始（12月29日 9時—1月3日 9時）は休館

ご利用案内

- JR西日本・山陽新幹線をご利用の場合、「福山駅」で下車、山陽本線にお乗り換えになり、「尾道駅」へ。「新尾道駅」は「こだま」のみが停車し、山陽本線には乗り継ぎできませんので、タクシーで「千光寺公園」、内尾道市立美術館へ。
- JR西日本・山陽本線「尾道駅」から、「1番のりば（東行き）」のバスで「長江口」下車（140円）、ロープウェイで「千光寺公園」へ（片道280円、往復440円）。
- お車でお越しの場合、「千光寺ドライブウェイ」経由で「千光寺公園」入口の「かおり橋駐車場」（1日500円）へ。
（「かおり橋駐車場」の駐車券を、美術館受付でご提示いただければ、当日券をお求めのかた1名様にかぎり、観覧料を200円割引いたします。）
- 「尾道駅」および「新尾道駅」から、タクシーで1,200円程度です。



尾道市立美術館
ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内
Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682

